

2030年

六ヶ所再処理工場のゆくえ 私たちの原子力政策

2015年9月16日(水)

13:30～16:30(受付13:00)

@衆議院第一議員会館

大会議室

福島第一原発事故から4年を過ぎた今も、12万人もの人々が故郷を追われ、避難生活は続き、生活補償も十分されていません。環境や生産現場に与える影響も甚大で、長期にわたり住民を苦しめています。国民のほとんどが「原子力に頼らない社会」を志向する一方、拙速に原発再稼働が進められています。

昨年4月に閣議決定されたエネルギー基本計画では、核燃料サイクル政策を推進するとしています。しかし現実には、各地の計画はとん挫、もんじゅの運転再開はきわめて困難、余剰プルトニウムに対する国際社会の厳しい目もあり、課題は山積みです。

私たちは現実をまっすぐに見すえて「核燃料サイクルを推進する」としたエネルギー基本計画を再度問い直す必要があると考えます。



一緒に考えてみませんか？

2030年

六ヶ所再処理工場のゆくえ 私たちの原子力政策

2015年9月16日(水) 13:30~16:30 (受付13:00)

衆議院第一議員会館 大会議室

※申込不要・参加費無料

入館時に入館証をお受け取りください

プログラム

- 六ヶ所再処理工場の本格稼働を目指す規制委員会と原燃一問題点を突くー
伴英幸さん(原子力資料情報室共同代表)

- 核燃サイクル反対運動の歴史と現地からの問題提起

山田清彦さん((核燃サイクル阻止1万人訴訟原告団・事務局長)

- 六ヶ所再処理工場視察ツアー報告

消費者:生活クラブ、生産者:大地を守る会

川内原発現地から:グリーンコープかごしま

- 連帯報告①「原発再稼働をめぐる状況と今後の脱原発運動:行動提起」

鎌田慧さん(さようなら原発1000万人アクション呼びかけ人)

- 連帯報告②

「原発事故子ども被災者支援法改正案と自主避難者住宅支援打ち切りに抗して」

自主避難当事者



□お問合せ:特定非営利活動法人日本消費者連盟

Tel: 03-5155-4765 Fax: 03-5155-4767 email: office.j@nishoren.org

□主催:六ヶ所村再処理工場に反対し放射能汚染を阻止する全国ネットワーク
(略称:阻止ネット) 呼びかけ団体:あいコープみやぎ、グリーンコープ、
生活クラブ、大地を守る会、日本消費者連盟、パルシステム連合会